

世界の主要拠点 (平成18年3月31日現在)



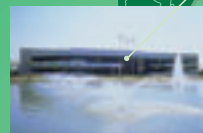
Sodick America Corporation (San Jose)



Sodick Europe Ltd. (U.K.)



Sodick Deutschland GmbH (Germany)



Sodick (Thailand) Co., Ltd.



Sodick Singapore Pte., Ltd.



Sodick (H.K.) Co., Ltd.



Sodick (Taiwan) Co., Ltd.



Sodick Inc. (Chicago/NJ/L.A.)



本社 / 技術・研修センター

国内					
本社	横浜				
支店・営業所	仙台	郡山	盛岡	八王子	松本
	関東(さいたま)	太田	新潟	東関東(柏)	
	名古屋	福井	静岡	浜松	大阪
	京都	岡山	福岡		
事業所	福井	加賀			



株式会社ソディックプラスチック



福井事業所



Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会：毎年6月
 基準日：定時株主総会／3月31日 期末配当金／3月31日
 その他必要がある場合は、予め公告する一定の日

単元株式数：100株
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所：東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (同送付先)：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎ 0120-232-711 (通話料無料)

同取次所：三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
 野村證券株式会社 全国本支店
 公告掲載方法：当社ホームページにおける電子公告

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

●電話(通話料無料)：0120-244-479(本店証券代行部) 0120-684-479(大阪証券代行部)
 ●インターネットホームページ：http://www.tr.mufg.jp/daikou/

ソディック ホームページのご案内

<http://www.sodick.co.jp/>



株主の皆様からの声をお待ちしております。

当社では、株主の皆様からのご意見・ご質問をお受けしております。
 お気軽に下記メールアドレスまでお寄せください。

▶メールアドレス：ir@sodick.co.jp

Sodick
株式会社 ソディック

〒224-8522 横浜市中区仲町台三丁目12番1号
 TEL:045-942-3111 FAX:045-943-5835
 (証券コード:6143)



本誌は、古紙配合率100%再生紙と、米国大豆協会認定の大豆油インキを使用しています。

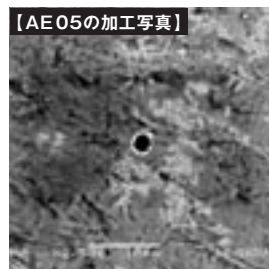
第30期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

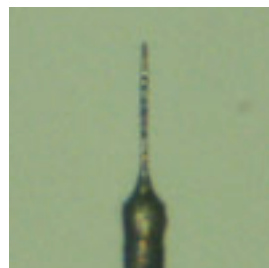
Sodick
株式会社 ソディック

■平成17年度TOPICS■

このたび、ナノ領域における要素技術を放電加工に応用し、他社製品に対し圧倒的な優位性をもった「放電加工による世界最小、超微細穴あけ加工」を実現する、“SPACEシリーズ第1弾! 世界初、高精度ナノ放電加工機「AE05」”が、日刊工業新聞社選定第48回十大新製品賞「日本力(にっぽんぶらんど)賞」を受賞致しました。



世界最小穴あけ加工φ2.9μm



φ1.8μm超硬電極

当社の連結子会社である株式会社ソディックハイテックが、大阪証券取引所のニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」スタンダードに、平成17年12月28日に上場いたしました。ソディックハイテックは、日本の超精密加工を支える4つの事業の集合体です。



新製品紹介①

超精密微細 高精度ナノ加工機 「Ultra NANO100」

世界初、“位置決め精度0.5ナノメートル、形状精度2~3ナノメートル”を実現したリニアテクノロジーの究極マシンであり、シングルナノからサブナノ領域での絶対的な優位性を確立しました。



新製品紹介②

リニアモータ駆動 大型形彫り放電加工機 AQ15L



リニアモータ駆動の高速・高精度加工を活かして、インパネ等の大型自動車関連部品や大型フラットパネルディスプレイなどをはじめとする、大型金型の効率的な生産を可能とした大型形彫り放電加工機です。

上記の機械以外にもお客様の「ものづくり」のお手伝いをするための新機種を多数開発いたしました。

MESSAGE

株主の皆様へ

株主の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、今年の8月3日に設立30周年を迎えます。この記念すべき年を、過去最高の売上及び利益を達成して迎えることが出来た事は、大変に喜ばしいことであり、これも株主の皆様のご指導ご鞭撻の賜物と心より御礼申し上げます。

この30年間、当社は「ものづくりのお手伝い」を合言葉に、社名の由来でもある「創造」「実行」「苦労克服」を社是として世界中のお客様とともに困難な課題を解決してまいりました。

次の30年も、この初心を忘れることなく、「ものづくりに貢献するソディック」としてお客様や株主の皆様をはじめ、全てのステークホルダーの方々に信頼して頂けるよう、邁進していく所存です。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 塩田 成夫



Contents

- 平成17年度TOPICS 1
- 社長メッセージ 2
- 当期の業績 3
- セグメント別概況／次期業績予想 4
- 〈特集〉キーパーソンに聞く、ソディックの成長戦略... 5-6
- 連結財務諸表(要旨) 7-8
- 株式情報／株式分布／株価・出来高の推移 9
- 会社概要／役員／重要事項 10

当連結会計年度におきまして、原油や金属など原材料価格が高止まりする中、日本経済は堅調に景気が回復し、企業業績や雇用面において大きく改善が見られました。

工作機械業界におきましても、全世界における旺盛な設備投資に対する需要に支えられ、平成17年の工作機械受注総額は1兆3,632億300万円となり、平成2年に次ぐ過去2番目の高水準となりました。

このような環境の下で当社グループは、旺盛な需要に対応するため海外生産拠点の生産能力の増強を進めると共に、超精密・大物加工・自動化などお客様のニーズにあった新製品の開発を進めました。

営業面では経済成長著しいベトナムのホーチミン、アメリカでは大手医療機器メーカーが集中しているテネシー州のメンフィス、インドのシリコンバレーといわれるバンガロール等、今後も持続的に成長が期待できる要所に新事務所を開設するなど積極的な営業展開を行いました。

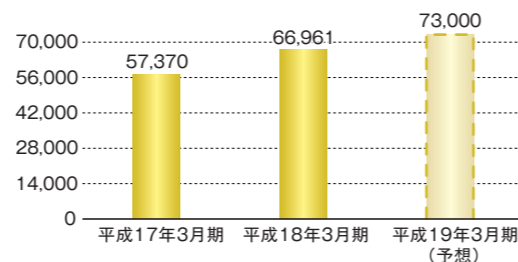
また、当社グループの企業価値を高める方策の一環として、平成17年12月28日に当社の連結子会社である株式会社ソディックハイテックが大阪証券取引所のニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」スタンダードに上場いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前連結会計年度比95億90百万円増(16.7%増)の669億61百万円となりました。

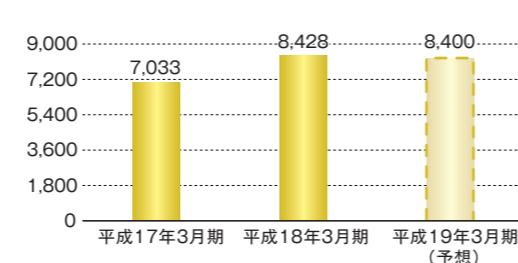
なお損益面におきましては、経常利益は前連結会計年度比13億94百万円増(19.8%増)の84億28百万円、当期純利益は前連結会計年度比8億83百万円増(16.9%増)の61億19百万円となりました。

連結業績ハイライト Highlight

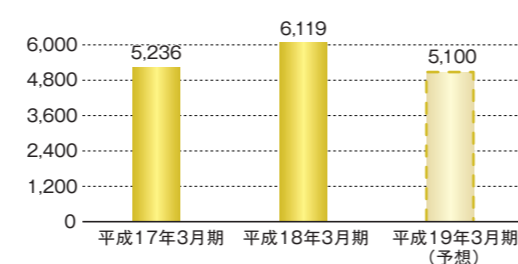
売上高 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)



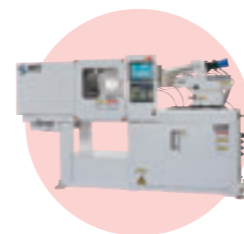
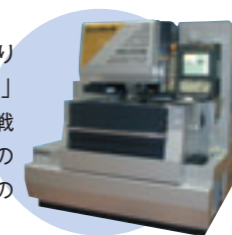
当期純利益 (単位:百万円)



セグメント別概況

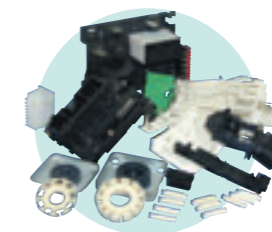
工作機械事業

新製品としては、好調が持続する自動車産業向けに大型形彫り放電加工機「AQ15L」及び中型精密ワイヤ放電加工機「AP500L」を投入いたしました。また、中国市場の拡大の中で中国市場向け戦略機である「AQ360L」及び「AQ560L」の売上が拡大するなどの結果、当事業の売上高は前期比77億18百万円増(19.4%増)の475億37百万円となりました。

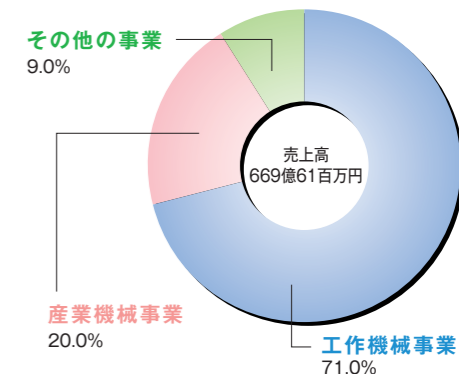


産業機械事業

電子部品、液晶、自動車関連産業向け等に販売は好調に推移しております。新製品としては、液状シリコン射出成形機「LSシリーズ」の製造販売を開始いたしました。韓国・中国に向けた輸出も拡大した結果、当事業の売上高は、前期比19億71百万円増(17.2%増)の134億32百万円となりました。



売上高構成比



その他の事業

内訳としては、CAD/CAMソフトウェア、精密金型・精密成型品の製造販売、大型セラミックス部材の製造販売等で構成されております。全般的に好調に推移いたしました。セラミック部材の受注が端境期となった結果、当事業の売上高は前年同期比1億40百万円減(2.3%減)の60億38百万円となりました。

次期業績予想

自動車産業やエレクトロニクス産業におきましては、中国・アジア地域を中心に、次期におきましても活発な設備投資動向に変化はないと考えております。

このような状況の下、平成19年3月期の当社グループの業績を、連結売上高730億円(9.0%増)、連結営業利益91億円(29.6%増)、連結経常利益84億円(0.3%減)、連結当期純利益は、当期と比べて税負担が増加する結果、51億円(16.7%減)と予想しております。

なお、上記の予想をする際に使用した想定為替レートは、対米ドル期中平均レートは109円、対ユーロ期中平均レートは140円、対タイバーツ期中平均レートは2.85円です。



急成長するアジア市場

株式会社ソディック オペレーションセンター
センター長 松田 高照

活発化するアジア市場

現在、当社では世界市場を日本・中国・アジア・米国・欧州の5つのエリアに分け、エリアごとの市場動向を見据えた生産、販売体制を構築しております。

なかでも世界のものづくりの中心となりつつあり、当社の生産拠点のある中国・アジア市場は、今後更なる発展が見込めるため最も注力している地域です (fig.1)。

この地域においては、これまで台湾、香港、上海、シンガポール、バンコク、ソウルに現地法人を設立して工作機械の販売・ユーザーサポートを行って参りましたが、当期は新たにベトナムのホーチミン (A) とインド南部のバンガロール (B) に事務所を開設いたしました。ベトナムに関しては、日系企業の進出も多く地理的にも日本や生産拠点であるタイ・中国から近いこともあり比較的スピーディに市場が立ち上がると考えています。しかしインドに関

してはインフラに不安があるなど、一朝一夕にはいかない部分もあります。そのため、IT分野と違いものづくりにおいては、潜在的な市場は非常に大きいと考えていますが、5~6年スパンのスローな成長を予想しております。

当社は、中国 (香港、台湾を含め) では年間1,000台以上の放電加工機を販売しており、5年前は300台程度であったことを考えると、この数年間の成長は目を見張るものがあります (fig.2)。

オペレーションセンター

オペレーションセンターの役割は、海外の各現地法人と連絡を密に取ることによって、それぞれの国のマーケット状況を理解し適切な販売支援情報の提供を行い、ソディックの世界シェアを拡大することです。

海外販売においては、日本と現地法人が互いに呼吸を合わせて販売していくかがポイントになりますが、過去のシンガポールや中国現地法人などでの駐在経験が活かして着実に成果を挙げることができていますし、今後も期待されていると自負しています。

現地の顧客を新規開拓するにあたって、主力商品はやはりリニアモーター搭載機種となりますが、販売増の鍵となるのは製品スペックだけではなく、例えば数ある機種・オプション群の中で、価格との折り合いを考えながらいかにお客様にフィットしたモノを提案できるかという営業センスや、修理パーツはすぐに調達できるのか、サービスマンは迅速に対応してくれるのかといったサービス全体を含めたところ、お客様は当社の製品を選択して下さるわけです。当社の場合、日本以外にも先にもお話したようにタイや中国に生産拠点を

持っているため、現地の実情に沿った営業、サービス、技術指導ができることが当社の強みであり、鍵となるわけです。人員的には当然現地採用の従業員が中心となっておりますが、現地法人特有の悩みとして、日本人と比較すると退職率が高いといった問題も実情としてはあります。

今後の流れ

当期は韓国市場での業績が好調で、液晶、半導体を扱うIT関連企業を中心に、当社の得意分野である精密機種がよく売れましたが、この傾向はしばらく続くと考えています。中国市場に関してはパソコンなどIT機器や家電関係が中心ですが、自動車用金型の現地生産も始まっていますので、来期はこの分野も期待できると考えています。また他のターゲットとしては、自動車メーカー各社の生産基地であるタイを中心として、インド、ベトナムでの販売増を図っていきます。

松田 高照 まつだ たかてる

略歴
〈昭和61年〉当社入社 営業本部大阪支店所属 (平成10年) Sodick Singapore Pte.,Ltd. 社長
〈平成15年〉沙迪克機電 (上海) に出向 (平成17年) オペレーションセンター センター長



A ホーチミン事務所 (ベトナム) 新設

平成17年9月に日系企業の進出が盛んな、ベトナムにホーチミン事務所を開設致しました。

B バンガロール事務所 (インド) 新設

平成18年3月にインドのシリコンバレーといわれる南部の工業都市であるバンガロールに事務所を開設致しました。また7月には、北部のデリーにも機械のメンテナンスや販売のための事務所を新設する予定です。

■ Sodick (Taiwan) Co., Ltd. の新本社完成



■ 青島及び温州 (中国) 事務所の新設

中国内における設備の保守サービスの拠点として平成17年10月に青島、平成18年2月に温州に事務所を開設致しました。

fig.1 ソディックのアジアでの市場展開

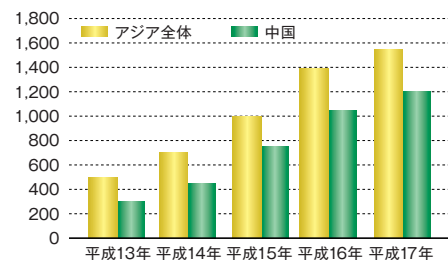
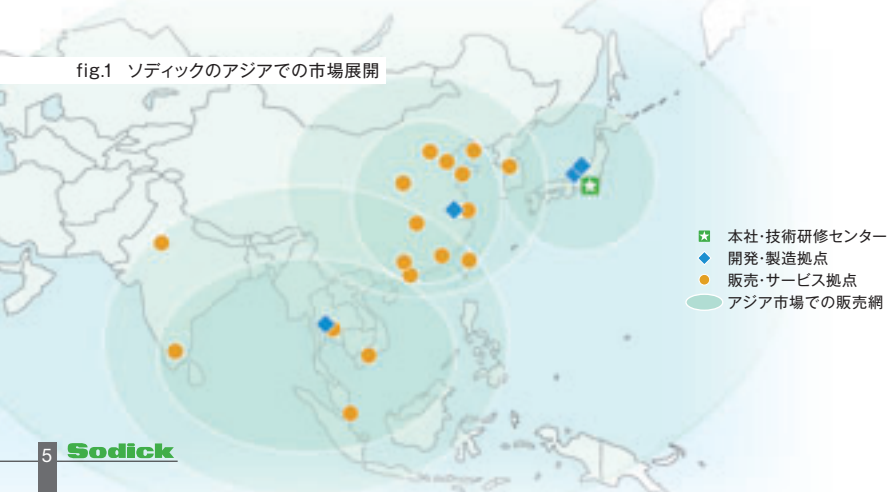


fig.2 ソディックグループによるアジア市場における放電加工機販売台数の推移

連結貸借対照表

科目	期別	(前期)平成17年 3月31日現在	(当期)平成18年 3月31日現在	科目	期別	(前期)平成17年 3月31日現在	(当期)平成18年 3月31日現在
資産の部				負債の部			
流動資産		46,534	57,081	流動負債		34,071	39,965
現金及び預金		8,174	12,228	支払手形及び買掛金		12,333	14,077
受取手形及び売掛金		20,870	25,586	短期借入金		13,933	16,368
割賦売掛債権		351	289	1年以内返済予定の長期借入金		1,665	1,946
たな卸資産		14,538	16,626	1年以内償還期限到来の社債		—	440
短期貸付金		558	253	未払金		2,391	2,946
繰延税金資産		—	1,288	未払法人税等		781	954
その他		3,225	1,693	その他		2,966	3,231
貸倒引当金		△ 1,184	△ 884	固定負債		8,585	9,823
固定資産		21,615	25,128	社債		1,940	3,500
有形固定資産		18,052	18,721	長期借入金		4,471	3,933
無形固定資産		942	1,188	その他		2,173	2,389
投資その他の資産		2,620	5,219	負債合計		42,656	49,789
投資有価証券		1,557	3,624	少数株主持分			
長期貸付金		32	87	少数株主持分		2,920	2,993
その他		1,300	1,871	資本の部			
貸倒引当金		△ 270	△ 364	資本金		16,848	16,848
資産合計		68,149	82,210	資本剰余金		3,029	3,032
				利益剰余金		3,328	8,997
				その他有価証券評価差額金		326	696
				為替換算調整勘定		△ 907	△ 91
				自己株式		△ 53	△ 55
				資本合計		22,572	29,428
				負債、少数株主持分及び資本合計		68,149	82,210

連結損益計算書

科目	期別	(前期) 平成16年4月1日~ 平成17年3月31日	(当期) 平成17年4月1日~ 平成18年3月31日
売上高		57,370	66,961
売上原価		37,658	45,596
売上利益		19,748	21,405
販売費及び一般管理費		12,934	14,385
営業利益		6,814	7,020
営業外収益		1,024	2,092
営業外費用		805	684
経常利益		7,033	8,428
特別利益		143	661
特別損失		1,403	675
税金等調整前当期純利益		5,774	8,414
法人税、住民税及び事業税		1,085	1,588
法人税等調整額		△ 1,228	267
少数株主利益(△)		△ 680	△ 439
当期純利益		5,236	6,119

連結剰余金計算書

科目	期別	(前期) 平成16年4月1日~ 平成17年3月31日	(当期) 平成17年4月1日~ 平成18年3月31日
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高		1,947	3,029
資本剰余金増加高		1,082	2
資本剰余金期末残高		3,029	3,032
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高		△ 1,498	3,328
利益剰余金増加高		5,273	6,178
利益剰余金減少高		446	508
利益剰余金期末残高		3,328	8,997

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	(前期) 平成16年4月1日~ 平成17年3月31日	(当期) 平成17年4月1日~ 平成18年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,724	4,909
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 3,445	△ 4,973
財務活動によるキャッシュ・フロー		540	3,848
現金及び現金同等物に係る換算差額		26	275
現金及び現金同等物の増減額		△ 153	4,059
現金及び現金同等物の期首残高		8,229	8,146
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		70	41
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額		—	△ 18
現金及び現金同等物の期末残高		8,146	12,228

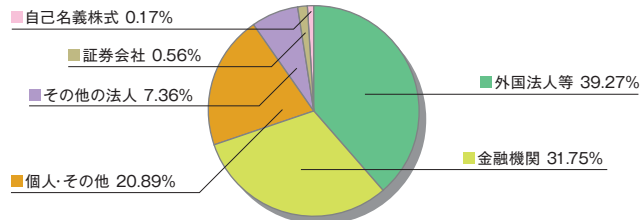
株式情報 (平成18年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	150,000,000株
発行済株式の総数	47,108,810株
株主数	6,618名

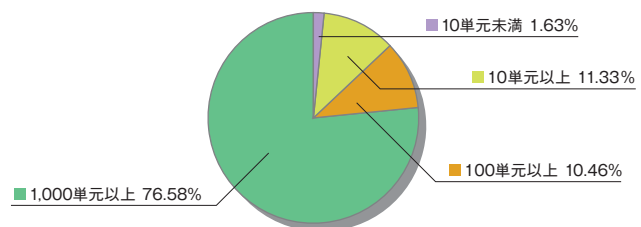
大株主

株主名	名寄株式数 (千株)	出資の比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,245	9.01
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,586	7.61
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,291	4.86
バンクオブニューヨーク・ロイヤリティ・リミテッド・ルクセンブルグ131800	2,221	4.71
メツバ株式会社	2,024	4.29
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,843	3.91
ピービーエチルクスフィデリティファンズジャパン・モラー・カンパニー	1,524	3.23
ザチエースマンハッタンバンク・エヌ・イロンドン	1,367	2.90
モルガンスタンレー・アンド・カンパニー・インターナショナル・リミテッド	1,023	2.17
シー・エム・ピー・エル・エス・エー・リミュー・チャル・ファン・ド	1,002	2.12

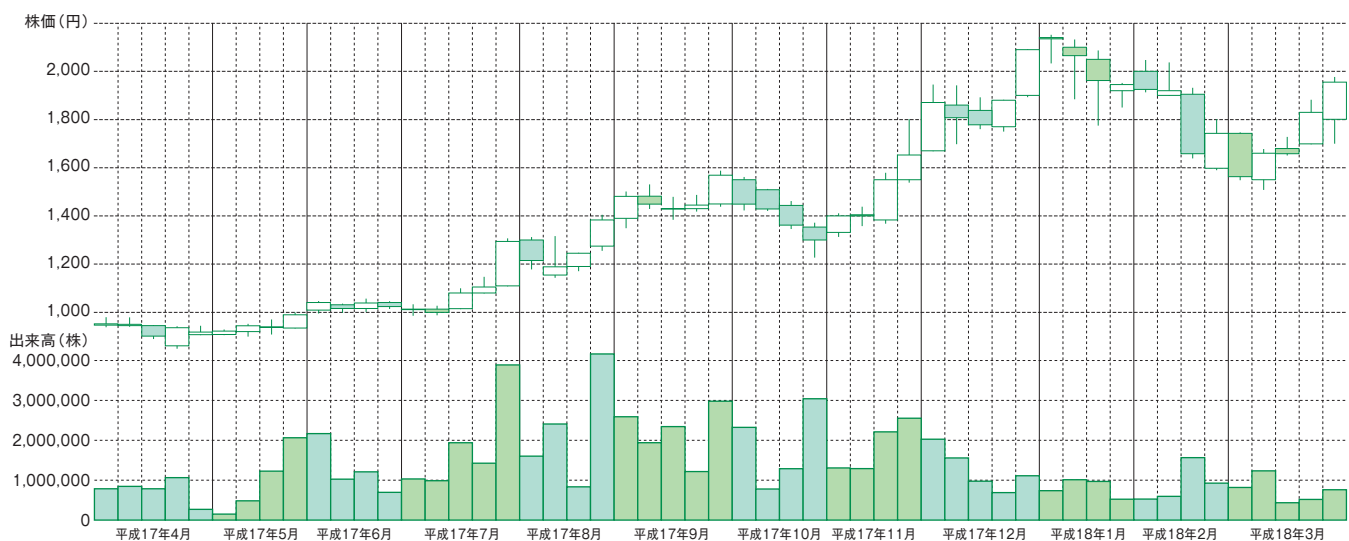
所有者別株式分布状況 (平成18年3月31日現在)



所有株式数別株式分布状況 (平成18年3月31日現在)



株価・出来高の推移 (平成17年4月1日～平成18年3月31日)



会社概要 (平成18年3月31日現在)

会社名	株式会社ソディック
所在地	(本社) 横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号 〒224-8522 TEL:045-942-3111(代表)
設立	昭和51年8月3日
資本金	168億4,873万9,258円
代表者	塩田成夫
従業員数	204人(連結3,090人)
連結子会社	36社
営業品目	NC形彫り放電加工機/NCワイヤ放電加工機/NC細穴放電加工機/数値制御電源装置/マシニングセンタ/ナノ加工機/金型設計製作用CAD/CAMシステム/精密射出成形機/工業用セラミックス/精密リニアプレスセンタ/産業機械向けリニアモータ/電子ビームPIKA面加工機/その他電気加工装置/放電加工機専用治具/放電加工機用消耗品/金型・成形品/その他

役員 (平成18年6月29日現在)

代表取締役社長	塩田 成夫
専務取締役(生産物流本部担当)	山本 孝志
専務取締役(経営企画担当)	加藤 和夫
常務取締役(営業統括担当)	瀧 耕二
取締役(管理本部本部長)	藤原 克英
取締役(研究開発本部本部長)	佐野 定男
取締役(営業技術本部本部長)	市川 剛志
取締役(アドバンスト研究本部本部長)	金子 雄二
取締役(財務部部長)	河本 朋英
常勤監査役	楠 左衛治
常勤監査役	上野 朔生
監査役	下山 貞男
監査役	小山 秋吉
監査役	相原 正雄

※監査役のうち、下山貞男、小山秋吉及び相原正雄は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

決算期後に生じた会社の状況に関する重要事項

平成18年5月24日開催の当社取締役会において、募集株式の発行並びに当社株式の売出しに関して決議され、平成18年6月6日、下記のように発行価格並びに売出価格等が決定し、平成18年6月14日に払込が終了いたしました。また、当社株式の売出しに伴う、SMBCフレンド証券株式会社を割当先とする第三者割当による募集株式の発行に関しては850,000株を上限として、平成18年7月14日に実施される予定です。

- (4) 申込期間 平成18年6月7日(水)～平成18年6月9日(金)
- (5) 受渡期日 平成18年6月15日(木)

3. 第三者割当による募集株式の発行

- (1) 払込金額 1株につき金1,240.43円
- (2) 払込金額の総額(上限) 1,054,365,500円
- (3) 資本組入額 1株につき金621円
- (4) 申込期間(申込期日) 平成18年7月14日(金)
- (5) 払込期日 平成18年7月14日(金)

4. 今回の公募による募集株式の発行及び第三者割当による募集株式の発行による発行済株式総数の推移

- (1) 前連結会計年度末の発行済株式総数：47,108,810株
- (2) 公募増資による増加株式数：6,000,000株
- (3) 公募増資後の発行済株式総数：53,108,810株
- (4) 第三者割当増資による増加株式数：850,000株*
- (5) 第三者割当増資後の発行済株式総数：53,958,810株*

※「第三者割当による募集株式の発行」の発行新株式数の全株に対しSMBCフレンド証券株式会社から申し込みがあり発行された場合の数字です。

5. 資金の使途

設備投資、研究開発費及び借入金の返済に充てたいします。

記

1. 公募による募集株式の発行(一般公募)

- (1) 発行価格 1株につき金1,300円
- (2) 発行価格の総額 7,800,000,000円
- (3) 払込金額 1株につき金1,240.43円
- (4) 払込金額の総額 7,442,580,000円
- (5) 資本組入額 1株につき金621円
- (6) 払込期日 平成18年6月14日(水)
- (注) 引受人は発行価額で買取引受けを行い、発行価格で募集を行います。

2. 当社株式の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)

- (1) 売出株式数 850,000株
- (2) 売出価格 1株につき金1,300円
- (3) 売出価格の総額 1,105,000,000円